

# 平成30年 夏の交通安全県民運動実施要綱の要旨

## 1 運動の目的

夏本番を迎え、海や山では本格的なレジャーシーズンの到来となります。この時期は



- ① 行楽のために自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから注意力が散漫になった運転者による交通事故の発生
- ② 夏休みを迎え屋外で遊ぶ子供たちや、日照時間が長くなり散歩などで外出する高齢者も増え、子供や高齢者が交通事故に巻き込まれる危険性が高まること
- ③ 行楽などのため家族・友人等複数人が一車両に乗車することで、交通事故が発生した場合、一度に沢山の方が被害にあう危険性が高いこと
- ④ 夏特有の解放感や各種の祭礼などで飲酒の機会が増え、飲酒運転による交通事故の発生

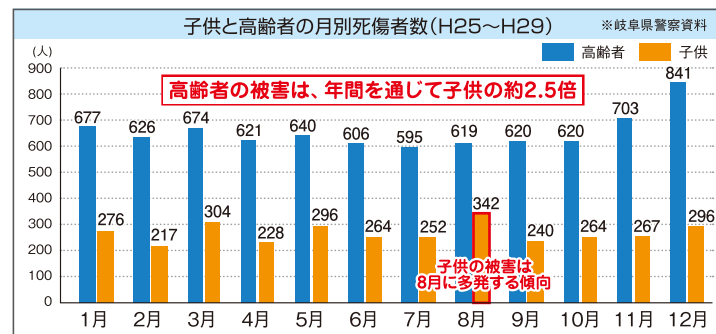
が予想されます。

このような夏特有の情勢を踏まえて、地域ぐるみで運動の重点に取り組むことで、県民一人ひとりが交通安全意識を高めて交通事故の防止を図ることを目的とします。

## 2 運動の重点に関する推進項目

### 1 子供と高齢者の交通事故防止

毎年8月は子供の事故が多発する傾向にあります。高齢者は、年末をピークに、年間を通じて子供の2.5倍前後となる多くの交通事故の被害にあっています。



### 推進項目1 参加・体験・実践型交通安全教育の推進

- ・自転車及び歩行環境シミュレータ、シートベルトコンビンサーを活用した交通安全教室等に参加しましょう。
- ・自転車安全利用五則を実践し、被害者はもちろん、加害者（特に自転車）にならないようにしましょう。
- ・家庭や学校・職場で、『交通事故は身近で起きるもの』『自分の身は自分で守る』とした安全意識を高めましょう。



### 推進項目2 保護・誘導活動の推進

- ・子供や高齢者に『愛のひと声』をかけるなど、地域ぐるみで子供と高齢者を交通事故から守りましょう。
- ・運転者は子供や高齢者を見かけたら速度を落とすなど『思いやり運転』を推進しましょう。
- ・70歳以上の運転者は、高齢運転者標識（高齢者マーク）を表示しましょう。（表示努力義務）



## 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルトとチャイルドシートは、突然やってくる交通事故から、あなたや同乗者の命を守ってくれます。夏の行楽期、高速乗合バスや貸切バス等に乗車する際も、全席シートベルト着用を徹底しましょう。

### 推進項目 シートベルト等非着用の危険性及び着用の必要性・効果の周知

平成29年中の交通事故死者におけるシートベルトの非着用率は

約**36%**!

非着用者のうち、6割強(9人)の方がシートベルトを着用していれば命を落とすことはなかったと思われます。

#### シートベルト着用率

	一般道		高速道等	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
運転者	98.3%	98.6%	99.1%	99.5%
助手席同乗者	94.8%	95.2%	96.8%	98.3%
後部座席同乗者	50.2%	36.4%	77.3%	74.4%

平成29年:警察庁・JAF調べ

#### チャイルドシート着用率

全国	64.1%
岐阜県	82.9%

平成29年:警察庁・JAF調べ



### 非着用の危険性

- 車内で全身を強打する可能性
- 車外に放り出される可能性
- 前席の人が被害を受ける可能性

#### 正しい着用方法



#### 主なチャイルドシートの種類…抱っこでは子供の命は守れません

- 【新生児対応タイプ】 体重:18kg以下 年齢:新生児~4歳頃
- 【チャイルド&ジュニアシート】 体重:9~36kg以下 年齢:1~11歳頃
- 【ジュニアシート】 体重:15~36kg以下 年齢:3~11歳頃

## 3 飲酒運転の根絶

- ・飲酒運転による交通死亡事故は、ここ数年増加傾向にあります。
- ・飲酒運転は、何の落ち度もない人の人生を破壊してしまう悪質な犯罪です。
- ・社会全体で、飲酒運転を『しない』『させない』『許さない』環境をつくりましょう。

### 推進項目1 飲酒運転をなくすための3つの約束の実践

- 約束1 お酒を飲んだら運転しない【**しない**】
- 約束2 運転する人にはお酒を飲ませない【**させない**】
- 約束3 お酒を飲んだ人には運転させない【**許さない**】

### 推進項目2 社会全体で飲酒運転を許さない環境づくりの推進

